

科目名	福祉ビジネス特論 Welfare Business		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・金・4 限	秋・金・5 限	-	-
担当教員名	中井 良育	e-mail		

＜講義の概要と目的＞

近年、福祉の事業展開をサービスとビジネスの両側面から論じることが中心となっており、サービスの質の担保も重要な課題となっている。このような状況を踏まえ、本講義においては、福祉の制度や組織、人事・労務管理、サービス提供、地域福祉の創造などの具体的事項について、講義・ディスカッションを行う。

これらをとおして、福祉経営に関する総論と各論をバランスよく学び、最終的には福祉経営の事業創造を実践することが可能となる基礎的な力を身につける。

＜到達目標＞

福祉経営の事業創造を行うために必要な福祉の制度や人事・労務管理について理解できる。

＜アクティブ・ラーニング要素＞

授業に対する目的・課題意識の強さ、グループ・ディスカッションを通じて社会福祉のビジネスモデル等を検討し、履修者自らの学びの立案・実践・振り返り、他者との学び合いへの積極性などをアクティブ・ラーニングの要素とする。

＜講義計画＞
1 回目：オリエンテーション
・要点：授業の概要と目的を理解し、授業計画及び留意点を確認する。
2 回目：日本における社会保障制度の概要
・要点：日本における社会保障制度全体の制度とサービスを学ぶ。
3 回目：日本における社会福祉制度の概要
・要点：日本における社会福祉全体の制度とサービスを学ぶ。
4 回目：非営利組織のミッションとリーダーシップ（1）
・要点：福祉サービス事業におけるミッション・人材の確保と育成について学ぶ。
5 回目：非営利組織のミッションとリーダーシップ（2）
・要点：福祉サービス事業のミッションを立案する（グループワーク）。
6 回目：非営利組織のミッションとリーダーシップ（3）
・要点：福祉サービス事業におけるリーダーシップについて学ぶ。
7 回目：非営利組織のマーケティング（1）
・要点：福祉サービス事業を展開するためのマーケティング手法について学ぶ。
8 回目：非営利組織のマーケティング（2）
・要点：福祉サービスのマーケット分析・評価を行う（グループワーク）。
9 回目：非営利組織のマーケティング（3）
・要点：福祉サービス事業の経営視点、事業の評価方法について学ぶ。
10 回目：非営利組織のマーケティング（4）
・要点：イノベーションのための事業分析及び評価を行う（グループワーク）。
11 回目：非営利組織の戦略と成果（1）

・要点：福祉サービス事業の戦略と SWOT 分析手法について学ぶ。
12 回目：非営利組織の戦略と成果（2） ・要点：福祉サービス事業の SWOT 分析と戦略の立案を行う（グループワーク）。
13 回目：コミュニティ・ビジネスの実際 ・要点：地域が抱える課題を解決するために地域資源を活用した事業について学ぶ。
14 回目：地域における福祉の総合的創造 ・要点：地域において福祉経営を行っていく際に必要な総合的創造の考え方について学ぶ。
15 回目：まとめ ・要点：これまでの授業の総まとめを行う。
＜講義の進め方＞ 各回の授業において、講義を中心としてグループ・ディスカッションも行う。
＜事前事後学修内容＞ 事前学習として講義計画の各項目に応じその概要を調べてくる、また、事後学習として学習内容を実際の福祉現場で実践できるようにする。
＜予習・復習時間＞ 各回の予習・復習には計 4 時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をする。
＜教科書及び教材＞ 教科書は使用しない。授業において、その都度、資料を配布する。
＜参考書＞ Drucker, P. F., Managing the Nonprofit Organization, HarperCollins Publishers, 1990 (= 2007、上田惇生訳『ドラッカー名著集 4 非営利組織の経営』ダイヤモンド社) その他、授業において必要に応じて紹介する。
＜成績評価方法＞ 欠席 6 回以上は成績評価しない。 講義レポート 40%、グループ・ディスカッション、発表などのクラス貢献 60%
＜課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法＞ 課題レポートにて全体に対してフィードバックする。
＜履修条件＞ 特になし
＜ディプロマポリシーとの関連＞ アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当
＜録画映像の視聴＞ 可
＜オフィスアワー＞ 火曜日 14：50～18：00 E-mail：nakai@nuhw.ac.jp
＜その他＞ 特になし。